

# IVRの過去・現在・未来— 歴代理事長に聞く

現理事長

兵庫医科大学 放射線医学教室

山門 亨一郎

# IVR学会の2大目標

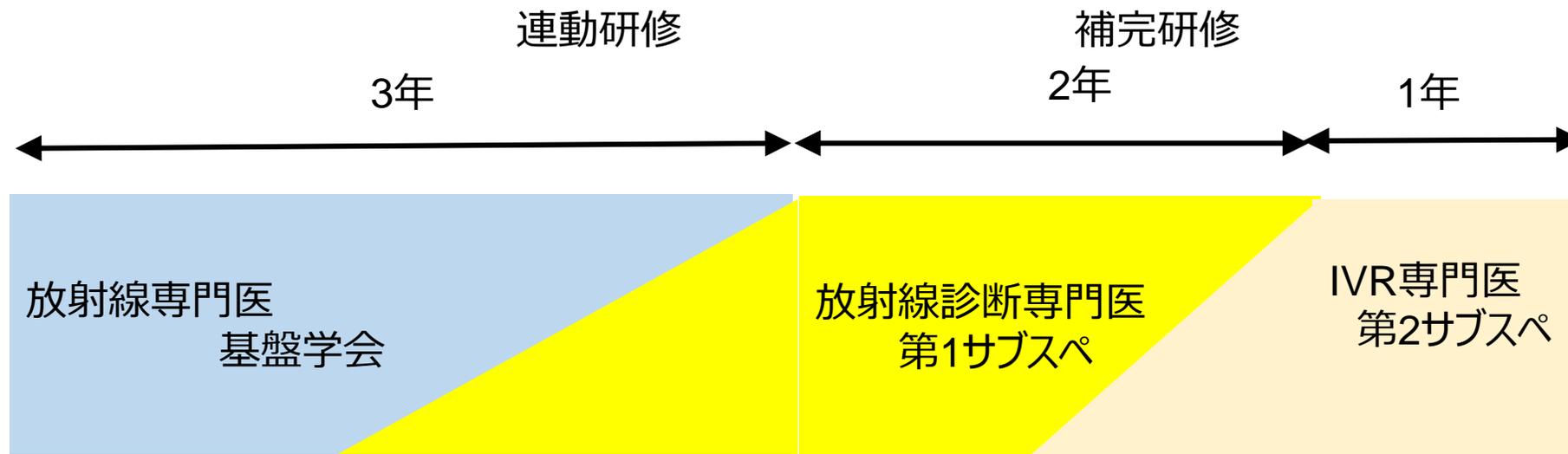
- IVR学会を専門医機構・認定学会にする
- IVRを標準治療にする

# IVR学会を専門医機構・認定学会にする

- 国民に資する学会の証。
- 格が上がる。
- 米国では、DR/IR。Medical studentから人気No.1。

IVRの未来を考えると必須 !!

# IVR学会を専門医機構・認定学会にする



IVR 領域 御中

一般社団法人 日本インターベンションラジオロジー学会

2021年6月29日

一般社団法人 日本専門医機構 理事長

寺本 民生

同サブスペシャリティ領域検討委員会委員長

渡辺 毅



日本専門医機構サブスペシャリティ領域専門医 新規認定審査における貴領域審査結果のご報告

貴領域に関しましては、機構の認定基準（別紙）の項目4 専門医数の基準3つのうち1つの基準を満たさず、項目5 専門研修施設数・指導医数の基準を満たしていませんでしたが、委員会では貴領域の制度整備へのご努力や国民医療での重要性、中央部門的役割を鑑み、基準を弾力的に運用することで機構認定に値すると結論し、理事会に推薦申し上げました。しかしながら、理事会では、機構認定は出来るだけ抑制的に行うべきで、基準を厳格に満たさない領域は承認できないとの意見が出され、

2020年度の認定は見送られました。

# サブスペ認定のための基準

1. 専門医像と社会的使命
2. 基本領域の承認と同意
3. サブスペシャリティ領域としての認知
4. 専門医数

すべての大学病院に1名以上のサブスペ専門医が常勤

要努力

臨床研修病院の半数以上に1名以上のサブスペ専門医が常勤

すべての都道府県にサブスペ専門医が2名以上いる

5. 専門医研修施設数・指導医数

clear

すべての都道府県に研修施設が1施設以上あり、かつ指導医がいること

インタビュー◎日本専門医機構の寺本民生理事長に聞く

## 機構認定と学会認定のサブスペ、「インセンティブで差別化は考えていない」

今秋、機構認定サブスペの追加申請募集を開始予定

2021/07/28

聞き手：宇津木 菜緒＝日経メディカル



また、小児神経専門医や小児血液・がん専門医などの小児科領域も議論になりました。機構認定領域は、患者数や専門医数がある程度多いことが求められますが、小児系はいずれも少ない。しかしながら、その社会的意義は非常に大きいので、「機構認定にすべき」という意見がある一方、「例外を認めたらきりがなくなる」との声も上がり、議論がまとまりません。IVR（インターベンショナルラジオロジー）専門医も「名称が分かりにくい」と指摘されています。

てらもと たみお氏◎1973年東京大学医学部卒。米国シカゴ大学留学、東京大学医学部付属病院第一内科、帝京大学内科主任教授、帝京大学医学部学部長を経て現職。

——機構認定のサブスペシャルティ領域の結論が出ないことで、学会幹部や現場の医師からは「不透明な状況が長引くと、当該領域の専門医を志す若手医師が減ってしまう恐れがある」「今後のキャリア形成に不都合が生じている」といった声が上がっています。

# “IVR”という言葉の啓発

- わかりにくい
- 我々の背負っている十字架か・・・

“画像下治療” という日本語があるぞ

それでも一般国民には分かりづらい

# リハビリ

- よく考えたら変な言葉だけれど、みんな知ってる
- IVRもみんな知ってる言葉になって欲しい

# 啓発動画

- 病院待合室で流す
- 学生の講義に使う
- 市民公開講座に使う

# 委員会・WG活動

## 専門医

- 機構専門医認定
- 選挙制度改革

## ガイドライン

- ガイドライン作成
- IVRの標準化

## 薬事

- 新規道具の保険収載
- 適応拡大

## 保険

- 手技、道具保険収載
- Web登録

## 広報渉外

- IVR啓発
- UAE啓発
- eラーニング

## 国際

- SIRAP
- SIR, CIRSE, APSCVIR

## 学術

- 技術教育セミナー
- CREPIR

## 編集

- 和文誌
- 英文誌

## 総務

- 各委員会との調整
- 雑務

## 救急

- 救急・外傷学会

## 防護

- 放射線防護

## 倫理・利益相反

- 倫理規定
- COI

## 財務

- 財務

## ダイバーシティ

- 働き方改革
- 女性会員の増加

## INE

- 講習会
- 認定看護師

## PAD

- PADセミナー

## 胆道

- 胆道IVR教育

## PVP

- 保険収載に向けて

## NIPP

- 保険収載に向けて



# プレスリリース

- 電通との契約
- 今学会から開始

体への負担が少ない低侵襲の治療法、「IVR」をご存知ですか？  
**日本インターベンショナルラジオロジー学会（日本IVR学会）**  
**プレスセミナー開催のお知らせ**

インターベンショナルラジオロジー（Interventional radiology, 以下IVR）は、画像で体の中を見ながらカテーテルや針を使って行う低侵襲な治療です。IVRによって提供される医療の幅は非常に広く、診断から治療、症状緩和、救急医療に至るまで様々な治療が行われています。抗がん剤を集中的に注入することでがんを治療したり、狭い血管を拡張することで臓器の虚血を防ぐことができます。また、組織を取って診断したり、膿みを抜いて感染を治すことも可能です。

日本IVR学会総会は今回で50回の節目を迎えます。これまでに様々な本邦発の治療法が開発され、高い技術を礎に発展してきました。また、グローバルな視野で、最先端の治療法を取り入れ続けています。この技術と新たな道を切り開く開拓者精神で、国民の皆様に貢献し、輝き続けます。今回、第50回日本IVR学会総会（2021年5月20日(木)～22日(土)大阪で開催）に先立ち、報道関係者を対象としたプレスセミナーを開催いたしますのでご案内いたします。

◆開催日：2021年4月26日（月）14:00～15:00

◆形式：オンラインセミナー（Zoomウェビナー）にて開催

※お申込みの方には、Zoomウェビナー参加用のURLをお送りいたします。

◆参加費：無料

### プレスセミナープログラム

司会

掛田 伸吾

（一般社団法人 日本IVR学会 広報・渉外委員会委員長／弘前大学大学院医学研究科 放射線診断学講座 教授）

14:00～ **日本IVR学会について**（10分）

演者

山門 亨一郎

（一般社団法人 日本IVR学会 理事長／兵庫医科大学病院 放射線科主任教授）

14:10～ **IVRを用いた新たながん治療**（20分）

- 塞栓術
- アブレーション（RFAと凍結療法）

演者

山門 亨一郎

（一般社団法人 日本IVR学会 理事長／兵庫医科大学病院 放射線科主任教授）

14:30～ **働く女性をサポートするIVR**（20分）

- 子宮筋腫に対する動脈塞栓術（UAE）
- 日本産科婦人科学会とのコラボレーション

演者

谷川 昇

（第50回日本IVR学会総会 会長／関西医科大学 放射線科学講座 教授）

14:50～ **質疑応答／事務連絡**（学会総会取材申し込み方法、取材における注意点など）

15:00 **閉会**

# 患者会

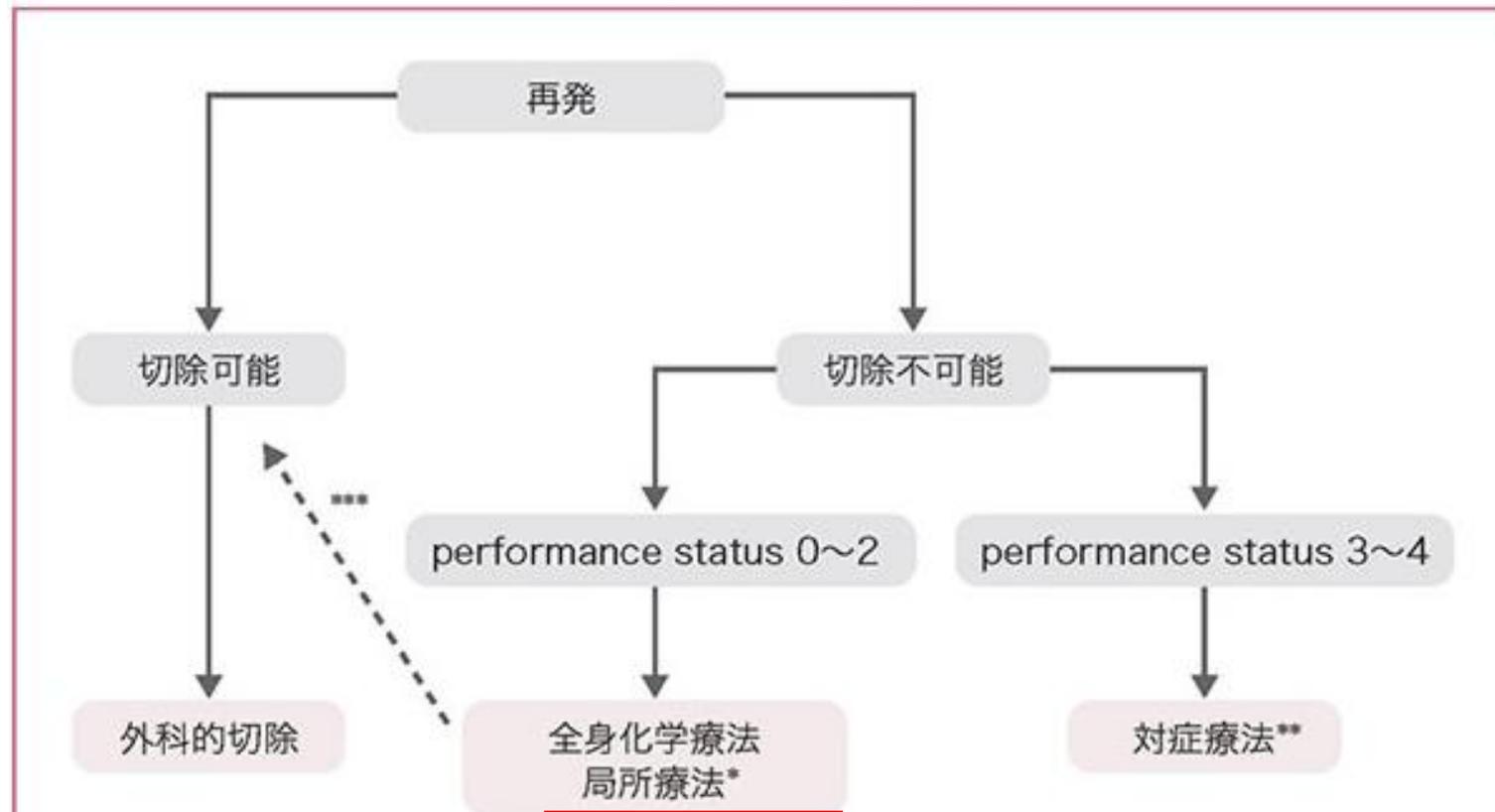
- 患者会への通知
  - IVRを知ってください
  - IVR専門医→カテーテル治療専門医

# IVRを標準治療にする

- 保険収載への努力
  - リピオドール, ビーズ, NBCA等, 新たな塞栓物質
  - Stent, RFAの適応拡大
  - IVR 専門医の優越性
- IVRがガイドラインに乗るための努力。

# 大腸がん治療ガイドライン 2016年版

〔再発大腸癌の治療方針〕



手術療法は原則的に1臓器に限局したものが対象であるが、2臓器以上であっても切除可能であれば考慮する。

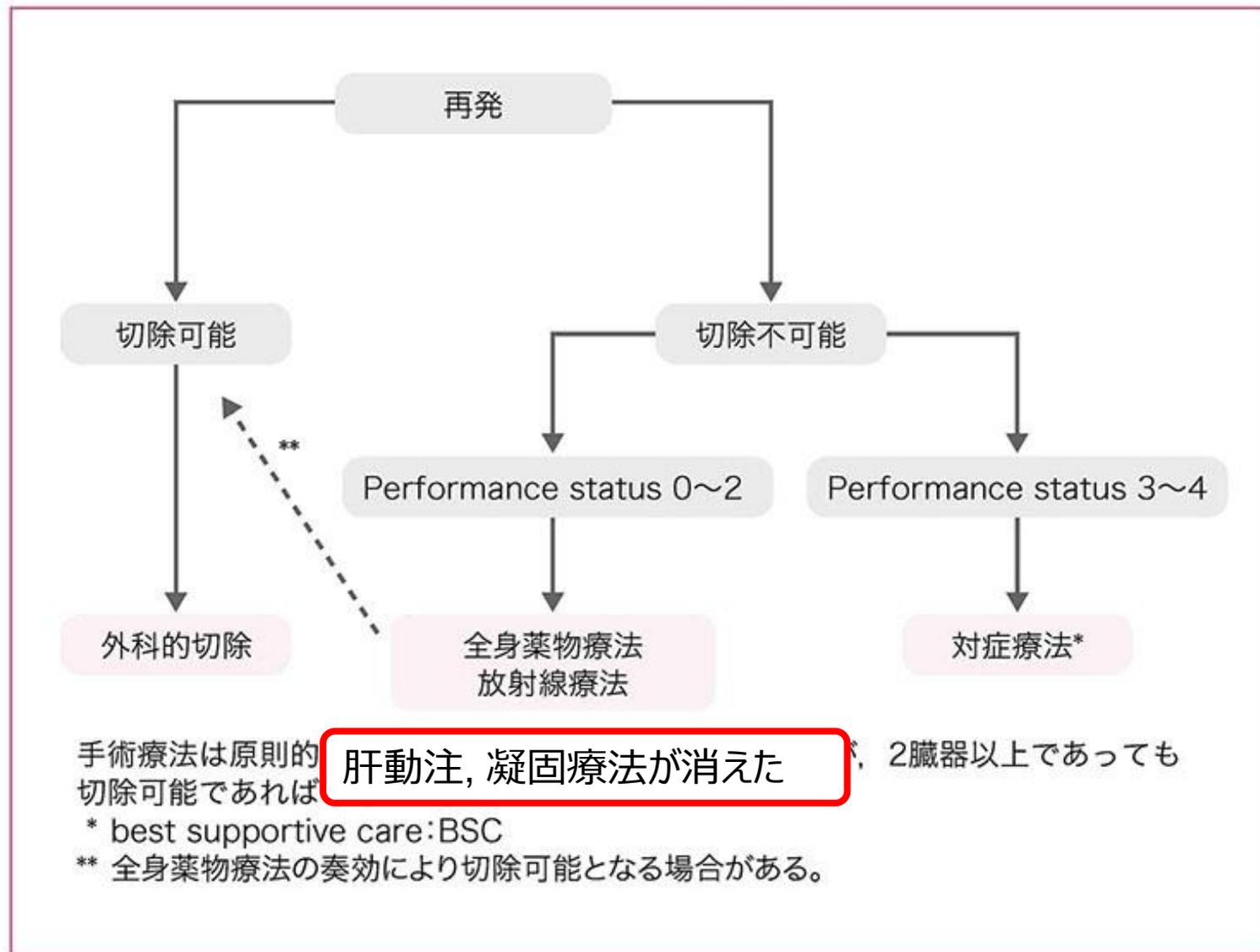
\* 局所療法には肝動注療法、熱凝固療法、放射線療法などがある。

\*\* best supportive care (BSC)。

\*\*\* 化学療法の奏効により切除可能となる場合がある。

# 大腸がん治療ガイドライン 2019年版

〔再発大腸癌の治療方針〕



## 第73回日本産科婦人科学会学術講演会

日本産科婦人科学会 日本IVR学会 合同セッション

日時：2021年4月25日（日）8:00～9:35

会場：第11会場（朱鷺メッセ 1F 展示ホール）

発表言語：日本語

（敬称略）

役割	氏名	所属	演題名
座長1	澤田 健二郎	大阪大学	-
座長2	山門 亨一郎	日本IVR学会理事長／兵庫医科大学 放射線科	-
演者1	近藤 浩史	帝京大学放射線科	危機的産科出血におけるUAE
演者2	大須賀 慶悟	大阪医科大学放射線医学教室	子宮筋腫に対するUAE
演者3	大須賀 慶悟	大阪医科大学放射線医学教室	合同アンケート概要
演者4	西尾福 英之	奈良県立医科大学放射線科	放射線科向けアンケート報告1 危機的産科出血
演者5	牧野 真太郎	順天堂大学	婦人科向けアンケート報告1 危機的産科出血
演者6	小野澤 志郎	杏林大学放射線医学	放射線科向けアンケート報告2 子宮筋腫の塞栓術
演者7	澤田 健二郎	大阪大学	婦人科向けアンケート報告2 子宮筋腫の塞栓術

# IVRがガイドラインに乗るための努力

**Bridge to the Standard**

The 47th Annual Meeting of the Japan Society  
for Low Temperature Medicine  
The 21th Annual Meeting  
of Japan Image-guided Ablation Group

第47回 日本低温医学会総会  
第21回 RFA・凍結療法研究会

会期：2021年10月29日(金)~30日(土)  
会場：淡路夢舞台国際会議場  
世話人：山門 亨一郎  
兵庫医科大学放射線医学教室 主任教授

事務局：兵庫医科大学 放射線医学教室内  
〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1-1  
E-mail: teionrfa@hyo-med.ac.jp  
http://hcm-radiology.com/teionrfa/

## ● シンポジウム

- 大腸がん転移再発病変に対するIVR
  - 帝京大学外科：橋口教授（大腸がんガイドライン委員長）
- 骨軟部腫瘍に対するIVR
  - 国がん整形外科：岩田先生（肉腫ガイドライン委員長）、
  - 金沢大学整形外科：土屋教授、
  - 福井大学整形外科：松峰教授

ビーズ塞栓、  
RFA、  
凍結療法のアピール

# IVR学会, ISIR & APSCVIR 2022

## JSIR, ISIR & APSCVIR 2022

Make it Standard

The 51st Annual Meeting of  
the Japanese Society of Interventional Radiology

The 14th International Symposium of Interventional Radiology

16th Annual Scientific Meeting of Asia Pacific Society of  
Cardiovascular and Interventional Radiology



President: Koichiro Yamakado, M.D., Ph.D.  
Chairman, Department of Radiology, Hyogo Medical University  
President, JSIR

Congress Secretary: Haruyuki Takaki, M.D., Ph.D.  
Department of Radiology, Hyogo Medical University

Saturday, June 4 - Monday, June 6, 2022  
Kobe International Exhibition Hall

## JSIR, ISIR & APSCVIR 2022

Make it Standard

第51回日本IVR学会総会

The 14th International Symposium of Interventional Radiology

16th Annual Scientific Meeting of Asia Pacific Society of  
Cardiovascular and Interventional Radiology



会長: 山門 亨一郎 兵庫医科大学放射線医学教室 主任教授 / 日本IVR学会 理事長

事務局: 高木 治行 兵庫医科大学放射線医学教室 准教授

2022年6月4日(土)~6月6日(月) 神戸国際展示場

- 神戸国際会議場
- 6 / 4(土) - 6 (月)
- IVRがガイドラインの掲載されるような学会を目指す

# 委員会・WG活動

## 専門医

- 機構専門医認定
- 選挙制度改革

## ガイドライン

- ガイドライン作成
- IVRの標準化

## 薬事

- 新規道具の保険収載
- 適応拡大

## 保険

- 手技、道具保険収載
- Web登録

## 広報渉外

- IVR啓発
- UAE啓発
- eラーニング

## 国際

- SIRAP
- SIR, CIRSE, APSCVIR

## 学術

- 技術教育セミナー
- CREPIR

## 編集

- 和文誌
- 英文誌

## 総務

- 各委員会との調整
- 雑務

## 救急

- 救急・外傷学会

## 防護

- 放射線防護

## 倫理・利益相反

- 倫理規定
- COI

## 財務

- 財務

## ダイバーシティ

- 働き方改革
- 女性会員の増加

## INE

- 講習会
- 認定看護師

## PAD

- PADセミナー

## 胆道

- 胆道IVR教育

## PVP

- 保険収載に向けて

## NIPP

- 保険収載に向けて

# 委員会・WG活動

## 専門医

- 機構専門医認定
- 選挙制度改革

## ガイドライン

- ガイドライン作成
- IVRの標準化

## 薬事

- 新規道具の保険収載
- 適応拡大

## 保険

- 手技、道具保険収載
- Web登録

## 広報渉外

- IVR啓発
- UAE啓発
- eラーニング

## 国際

- SIRAP
- SIR, CIRSE, APSCVIR

## 学術

- 技術教育セミナー
- CREPIR

## 編集

- 和文誌
- 英文誌

## 総務

- 各委員会との調整
- 雑務

## 救急

- 救急・外傷学会

## 防護

- 放射線防護

## 倫理・利益相反

- 倫理規定
- COI

## 財務

- 財務

## ダイバーシティ

- 働き方改革
- 女性会員の増加

## INE

- 講習会
- 認定看護師

## PAD

- PADセミナー

## 胆道

- 胆道IVR教育

## PVP

- 保険収載に向けて

## NIPP

- 保険収載に向けて

# IVR学会英文雑誌

**INTERVENTIONAL RADIOLOGY**

HOME / FOR AUTHORS ▾ / FOR REVIEWERS ▾ / PUBLICATIONS ▾ / JOURNAL INFORMATION ▾ / CONTACT

## NEWS

PubMed掲載を目指します  
投稿よろしく！

- PubMedに乗っていない
- IFがついていない

07/03/2019

Vol. 4, No. 2

## EDITOR'S CHOICE



Use of A Catheter with A Large Side Hole or Cleft in Selective Catheterization of Small Branch Arteries

Shiro Mivayama1, Masashi Yamashiro, Keiichi Nagai, Akira Yokka

# 委員会・WG活動

## 専門医

- 機構専門医認定
- 選挙制度改革

## ガイドライン

- ガイドライン作成
- IVRの標準化

## 薬事

- 新規道具の保険収載
- 適応拡大

## 保険

- 手技、道具保険収載
- Web登録

## 広報渉外

- IVR啓発
- UAF啓発
- eラーニング

## 国際

- SIRAP
- SIR, CIRSE, APSCVIR

## 学術

- 技術教育セミナー
- CREPIR

## 編集

- 和文誌
- 英文誌

## 総務

- 各委員会との調整
- 雑務

## 救急

- 救急・外傷学会

## 防護

- 放射線防護

## 倫理・利益相反

- 倫理規定
- COI

## 財務

- 財務

## ダイバーシティ

- 働き方改革
- 女性会員の増加

## INE

- 講習会
- 認定看護師

## PAD

- PADセミナー

## 胆道

- 胆道IVR教育

## PVP

- 保険収載に向けて

## NIPP

- 保険収載に向けて

# eラーニング

- 専門医制度
  - カリキュラム・CEPIR
- 学術、INE
  - 講習
- SIRAP

# eラーニング

- お金がかさむ
- 安定な財源の確保
  - 会員数の増加
  - 寄付、バナー広告

# 委員会・WG活動

## 専門医

- 機構専門医認定
- 選挙制度改革

## ガイドライン

- ガイドライン作成
- IVRの標準化

## 薬事

- 新規道具の保険収載
- 適応拡大

## 保険

- 手技、道具保険収載
- Web登録

## 広報渉外

- IVR啓発
- UAF啓発
- eラーニング

## 国際

- SIRAP
- SIR, CIRSE, APSCVIR

## 学術

- 技術教育セミナー
- CREPIR

## 編集

- 和文誌
- 英文誌

## 総務

- 各委員会との調整
- 雑務

## 救急

- 救急・外傷学会

## 防護

- 放射線防護

## 倫理・利益相反

- 倫理規定
- COI

## 財務

- 財務

## ダイバーシティ

- 働き方改革
- 女性会員の増加

## INE

- 講習会
- 認定看護師

## PAD

- PADセミナー

## 胆道

- 胆道IVR教育

## PVP

- 保険収載に向けて

## NIPP

- 保険収載に向けて

# ダイバーシティ・インクルージョンWG



JSIR  
DIVERSITY  
INCLUSION  
RECOGNITION

- 働き方改革
- 意識改革
- 女性会員の増加

# 委員会・WG活動

## 専門医

- 機構専門医認定
- 選挙制度改革

## ガイドライン

- ガイドライン作成
- IVRの標準化

## 薬事

- 新規道具の保険収載
- 適応拡大

## 保険

- 手技、道具保険収載
- Web登録

## 広報渉外

- IVR啓発
- UAF啓発
- eラーニング

## 国際

- SIRAP
- SIR, CIRSE, APSCVIR

## 学術

- 技術教育セミナー
- CREPIR

## 編集

- 和文誌
- 英文誌

## 総務

- 各委員会との調整
- 雑務

## 救急

- 救急・外傷学会

## 防護

- 放射線防護

## 倫理・利益相反

- 倫理規定
- COI

## 財務

- 財務

## ダイバーシティ

- 働き方改革
- 女性会員の増加

## INE

- 講習会
- 認定看護師

## PAD

- PADセミナー

## 胆道

- 胆道IVR教育

## PVP

- 保険収載に向けて

## NIPP

- 保険収載に向けて

# コメディカル会員を増やそう

- IVR学会員：3231人
  - 医師：2747 (85%)
  - 看護師/技師：459 (14%)
  - 賛助会員：25社 (1%)
- コメディカルの増加
  - IVRの認知度up
  - 財政の安定

# コメディカル会員を増やそう

- メンバーズ ベネフィット
  - 技師の放射線防護管理加算
  - . . . . .

# 委員会・WG活動

## 専門医

- 機構専門医認定
- 選挙制度改革

## ガイドライン

- ガイドライン作成
- IVRの標準化

## 薬事

- 新規道具の保険収載
- 適応拡大

## 保険

- 手技、道具保険収載
- Web登録

## 広報渉外

- IVR啓発
- UAF啓発
- eラーニング

## 国際

- SIRAP
- SIR, CIRSE, APSCVIR

## 学術

- 技術教育セミナー
- CREPIR

## 編集

- 和文誌
- 英文誌

## 総務

- 各委員会との調整
- 雑務

## 救急

- 救急・外傷学会

## 防護

- 放射線防護

## 倫理・利益相反

- 倫理規定
- COI

## 財務

- 財務

## ダイバーシティ

- 働き方改革
- 女性会員の増加

## INE

- 講習会
- 認定看護師

## PAD

- PADセミナー

## 胆道

- 胆道IVR教育

## PVP

- 保険収載に向けて

## NIPP

- 保険収載に向けて

# 保険収載

- 新たな手技、deviceの保険収載
- IVRの幅を広げる。地位向上。
- 適正使用で専門医縛り：専門医特権

# 保険主催に向けて

- RFA適応拡大
  - 来年6月くらい：IVR学会で大々的に
- NBCA保険収載
  - 来年度中
- 骨セメント保険収載
  - 現在協議中
- 静脈stent保険収載
  - ニーズ検討会で認可
- TIPS保険収載
  - 門亢症学会と共同で

# 委員会・WG活動

## 専門医

- 機構専門医認定
- 選挙制度改革

## ガイドライン

- ガイドライン作成
- IVRの標準化

## 薬事

- 新規道具の保険収載
- 適応拡大

## 保険

- 手技、道具保険収載
- Web登録

## 広報渉外

- IVR啓発
- UAF啓発
- eラーニング

## 国際

- SIRAP
- SIR, CIRSE, APSCVIR

## 学術

- 技術教育セミナー
- CREPIR

## 編集

- 和文誌
- 英文誌

## 総務

- 各委員会との調整
- 雑務

## 救急

- 救急・外傷学会

## 防護

- 放射線防護

## 倫理・利益相反

- 倫理規定
- COI

## 財務

- 財務

## ダイバーシティ

- 働き方改革
- 女性会員の増加

## INE

- 講習会
- 認定看護師

## PAD

- PADセミナー

## 胆道

- 胆道IVR教育

## PVP

- 保険収載に向けて

## NIPP

- 保険収載に向けて

# 国際化

- APSCVIR, SIR, CIRSEとの関係をさらに深化させる
- SIRAPも継続し、AsiaのIR-leaderとして進んでいく

2022IVR学会では

SIR

CIRSE

SIO

APSCVIR

CCI

# 委員会・WG活動

## 専門医

- 機構専門医認定
- 選挙制度改革

## ガイドライン

- ガイドライン作成
- IVRの標準化

## 薬事

- 新規道具の保険収載
- 適応拡大

## 保険

- 手技、道具保険収載
- Web登録

## 広報渉外

- IVR啓発
- UAF啓発
- eラーニング

## 国際

- SIRAP
- SIR, CIRSE, APSCVIR

## 学術

- 技術教育セミナー
- CREPIR

## 編集

- 和文誌
- 英文誌

## 総務

- 各委員会との調整
- 雑務

## 救急

- 救急・外傷学会

## 防護

- 放射線防護

## 倫理・利益相反

- 倫理規定
- COI

## 財務

- 財務

## ダイバーシティ

- 働き方改革
- 女性会員の増加

## INE

- 講習会
- 認定看護師

## PAD

- PADセミナー

## 胆道

- 胆道IVR教育

## PVP

- 保険収載に向けて

## NIPP

- 臨床試験

# 教育

- 今後は専門医制度とも連携が必要あり
- 胆道IVRのように技術継承も重要

# 委員会・WG活動

## 専門医

- 機構専門医認定
- 選挙制度改革

## ガイドライン

- ガイドライン作成
- IVRの標準化

## 薬事

- 新規道具の保険収載
- 適応拡大

## 保険

- 手技、道具保険収載
- Web登録

## 広報渉外

- IVR啓発
- UAF啓発
- eラーニング

## 国際

- SIRAP
- SIR, CIRSE, APSCVIR

## 学術

- 技術教育セミナー
- CREPIR

## 編集

- 和文誌
- 英文誌

## 総務

- 各委員会との調整
- 雑務

## 救急

- 救急・外傷学会

## 防護

- 放射線防護

## 倫理・利益相反

- 倫理規定
- COI

## 財務

- 財務

## ダイバーシティー

- 働き方改革
- 女性会員の増加

## INE

- 講習会
- 認定看護師

## PAD

- PADセミナー

## 胆道

- 胆道IVR教育

## PVP

- 保険収載に向けて

## NIPP

- 臨床試験

# 臨床試験

- 学会としての取り組み
- 新たな治療、手技、deviceの開発へのcommit

# 委員会・WG活動

## 専門医

- 機構専門医認定
- 選挙制度改革

## ガイドライン

- ガイドライン作成
- IVRの標準化

## 薬事

- 新規道具の保険収載
- 適応拡大

## 保険

- 手技、道具保険収載
- Web登録

## 広報渉外

- IVR啓発
- UAF啓発
- eラーニング

## 国際

- SIRAP
- SIR, CIRSE, APSCVIR

## 学術

- 技術教育セミナー
- CREPIR

## 編集

- 和文誌
- 英文誌

## 総務

- 各委員会との調整
- 雑務

## 救急

- 救急・外傷学会

## 防護

- 放射線防護

## 倫理・利益相反

- 倫理規定
- COI

## 財務

- 財務

## ダイバーシティ

- 働き方改革
- 女性会員の増加

## INE

- 講習会
- 認定看護師

## PAD

- PADセミナー

## 胆道

- 胆道IVR教育

## PVP

- 保険収載に向けて

## NIPP

- 臨床試験

# 他学会との関わり

- 他学会との関わりは大事
  - 標準化を目指す
  - 保険収載

# 委員会・WG活動

## 専門医

- 機構専門医認定
- 選挙制度改革

## ガイドライン

- ガイドライン作成
- IVRの標準化

## 薬事

- 新規道具の保険収載
- 適応拡大

## 保険

- 手技、道具保険収載
- Web登録

## 広報渉外

- IVR啓発
- UAF啓発
- eラーニング

## 国際

- SIRAP
- SIR, CIRSE, APSCVIR

## 学術

- 技術教育セミナー
- CREPIR

## 編集

- 和文誌
- 英文誌

## 総務

- 各委員会との調整
- 雑務

## 救急

- 救急・外傷学会

## 防護

- 放射線防護

## 倫理・利益相反

- 倫理規定
- COI

## 財務

- 財務

## ダイバーシティー

- 働き方改革
- 女性会員の増加

## INE

- 講習会
- 認定看護師

## PAD

- PADセミナー

## 胆道

- 胆道IVR教育

## PVP

- 保険収載に向けて

## NIPP

- 臨床試験

# 法令順守

- COI, 個人情報, 契約, 等
- 顧問弁護士契約

# 今後のIVR学会

- 専門医機構認定
- IVRの標準化
- IVRという言葉の普及
- IVR誌のPubMed掲載
- eラーニングの立ち上げと会員増加
- 保険収載、教育、国際化の持続
- 新たな手技、device開発へのcommitment

# IVRの明るい未来

- 会員皆様の協力がぜひとも必要です
- 力を合わせて、築いていきましょう

# IVRの明るい未来

- 会員皆様の協力がぜひとも必要です
- 力を合わせて、築いていきましょう